
ジオ・ラボ ネットワーク通信 2017.6 第53号

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：関東土質試験協同組合

- ・北海道土質試験協同組合 ・協同組合土質屋北陸 ・関東土質試験協同組合
 - ・中部土質試験協同組合 ・協同組合関西地盤環境研究センター ・協同組合岡山県土質試験センター
 - ・協同組合島根県土質技術研究センター・協同組合広島県土質試験センター ・宮崎県地質調査業協同組合
- なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

北海道土質試験協同組合

mail to : hsrc@src.or.jp

組合員技術者懇談会を開催

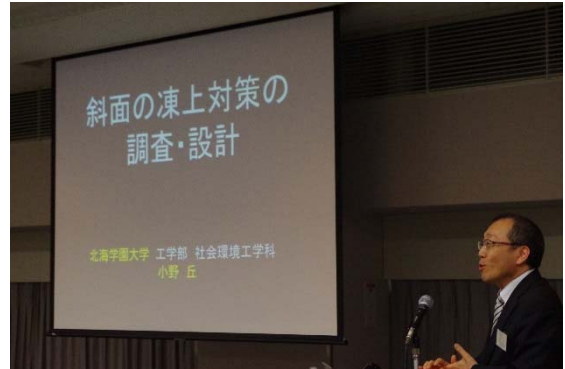
去る5月26日(金)に札幌コンベンションセンターにおいて組合員技術者約70名の出席をいただき第32回 技術懇談会を開催いたしました。

懇談会は渡辺彰彦理事長の開会の挨拶に続き、組合職員による「粉末X線回折法による石英含有率の測定」と「土層強度検査棒と室内土質試験との比較例」についての技術活動報告、組合活動報告として「平成28年度業務部からの報告」を行いました。

特別講演は、「斜面凍上対策の調査・設計」についてと題し、北海学園大学工学部社会環境工学科教授 小野 丘氏に講演していただきました。

北海道に多く見られる斜面凍上の現象と対策方法についてわかりやすく説明していただきました。

懇談会終了後に懇親会を実施いたしました。懇親会からが本番と考えていた方々が多数おられたようで有意義な情報交換、意見交換の場となりました。
(文責：中川範彦)

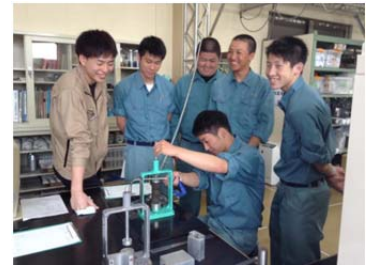
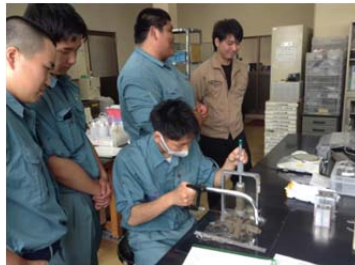


協同組合土質屋北陸

mail to : info@doshitsuya.or.jp

毎年恒例の「金沢市立工業土木科」の生徒さんの研修が始まりました。5月から6月にかけて4回行われます。相撲部や野球部の中心選手も参加していてにぎやかな研修となっています。

当組合の男性職員6名のうち、3名が出身校というわけで年齢も近く、楽しそうにお互い研修をしています。女子生徒も今回は3名参加、全体で7名の参加となっています。「ドボジョ」育成中(笑)



毎年5月30日は「ゴミ0の日」というわけで、全職員で清掃活動を行います。今年は、金沢市と合意した「公園等里親制度」による社会貢献として、里親となっている「松村あおぞら公園」のゴミを拾ったりトイレ清掃などを行いました。

みなさんも近くの公園の里親となってお世話するのはいかがでしょうか。



(文責：森川和重)

◇第11回室内土質試験研修会開催◇

5月23日～5月26日にかけて「第11回室内土質試験研修会」が開催されました。2社7名の、新入社員から第一線で活躍されている方が参加され、基本的な力学試験、物理試験を体験していただきました。



各種試験の目的や概要を説明したり試験を実演したりすることで試験の原理や方法を再確認するよい機会となりました。また参加者との質疑応答を通じて普段の業務からでは気付けない新たな発見もありました。

また、研修会終了後には懇親会が開催され、参加者の皆さんと交流を深めました。今後の業務の発展に繋がればと期待する次第です。

最後に、土質試験を必要とされる皆様の御要望にお応えすべく技術研鑽に努めてまいります。

(文責：小野晃裕)

中部土質試験協同組合

mail to : info@geolabo-chubu.com

● 中型三軸試験機のオーバーホールが終了し、稼働開始しております。

中部土質試験協同組合では、中型三軸試験機の品質向上のために、4セルの新旧交換を実施しました。本試験機は、直径φ=50,100,150mmに対応した三軸試験機です。供試体を含むセルの移動も大変スムーズになりました。また、各セルに小型クレーンを設置し、作業の効率化も実施致しました。

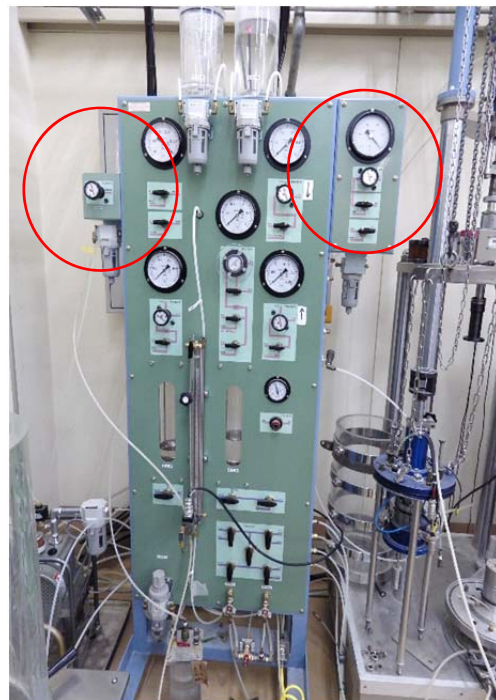
今後の稼働が期待されます。

● 中空ネジリ試験機の二重負圧化を完了しました。

動的試験関係では、中空ネジリ試験機の供試体の飽和度向上に寄与するために、二重負圧化装置を増設しました。この結果、学会レベルで要求される精度の向上に寄与することが可能となりました。



中型三軸試験機のセル交換＋クレーン増設



中空ねじり試験機二重負圧化装置増設

(文責：坪田邦治)

(1) 第37期通常総会終了

去る5月29日(月)開催致しました、第37期通常総会におきまして役員が改選されました。

又、その後の理事会において、理事長に寺西一哲((株)ソイルシステム)、副理事長に窪田博之((株)アテック吉村)・八谷誠(中央復建コンサルタンツ(株))、専務理事に中山義久((協)関西地盤環境研究センター)が就任致しました。今年度も組合理念であります、“組合員に、業界に、社会に、なくてはならない存在になる!”を目標に役・職員一同努力してまいりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



(2) 若手技術者室内試験体験会開催

若手技術者室内試験体験会を4月20日・4月21日(第1回)、5月18日・5月19日(第2回)に開催致しました。第1回には19名、第2回には16名の若手技術者の方々が参加されました。

今後とも当センターではいろいろな研修会・講演会等を開催していきますので、皆様方のご参加をお待ちしております。



(文責: 森 辰義)

・通常総会の開催

平成29年5月11日(木)に通常総会が開かれ、役員任期満了にともない、理事・監事の改選があり、理事会において代表理事(理事長)小谷裕司氏、副理事長 西垣 誠氏(岡山大学大学院 名誉教授)、専務理事 吉田昌平氏が選任されました。

また、功労賞(地質調査技士合格:西見 美穂)の表彰が行われ、小谷裕司理事長より表彰状と金一封が授与されました。

・新入職員の紹介

平成29年4月1日より、新入職員(井谷 明音)が1名増えました。若さあふれるフレッシュな職員の加入により、センターの雰囲気も明るく華やかになりました。

今後とも、よろしくお願いいたします。

(文責: 西見 美穂)



1. 第35回通常総会が開催されました

平成29年5月26日、ひろしま国際ホテルにおいて理事・組合員11名(書面出席を含め15社)出席のもと通常総会が開催されました。藤原理事長が議長に就任し、審議の結果下記の議案などが承認されました。

- ・平成28年度事業報告及び決算承認の件
- ・平成29年度事業計画及び予算案承認の件

平成28年度の売上目標3,200万円に対し、年間売上3,950万円(計画比123%)と予算を大きく上回ることができました。昨年度導入した4連式三軸圧縮試験機で効率的に試験を行い対前年比234%の受注量にも対応することができ、今年度赤字決算を見込んでいたにも関わらず投資効果を得ることができました。平成29年度も一層の努力をして参りたいと思います。

(文責: 岩城基子)

2. 土質試験見学会を開催しました

5月11日に、室内土質試験見学会を開催しました。組合員企業に募集を募り、新入社員からベテランまでの5社10名の参加をいただきました。

力学試験として、不かく乱試料(シンウォール)の抜き取りを実際に行い、この供試体を用いて一軸・三軸圧縮及び圧密試験を実施、説明しました。その後、締固め等の材料試験を透水試験まで一通り説明しました。

物理試験として、含水比・土粒子の密度・粒度・液性及び塑性限界試験を実演し最後に、動的三軸試験(液状化)及びジオ・ラボネットワークの紹介をして終了しました。

参加者の多くが土質試験を見る機会が少ないため、たいへん興味を持って見ていただいたようです。ただ三軸試験のように条件の種類とその利用方法など説明する側の難しさを痛感しました。今後もこのような見学会を継続し、PR活動を続けていきたいと思います。

最後になりましたが、分かりやすい解説資料を提供していただいた中部土質試験協同組合様に感謝申し上げます。
(文責：常田 徹)

